

Breaktime with Braden

ブレイドの  
おれいしたいむ vol.19

原文・和訳  
ブレイデン・ベナイト  
Braden Bennight

ワシントン州フェデラルウェイ市出身。2021年11月から国際交流員として、浦添市役所国際交流課に配属。

### ハワイに移民したウラシーンチュ

去年、浦添市で開催された第7回世界のウラシーンチュ歓迎会に参加しました。その歓迎会で、昔ハワイに移民したウラシーンチュの子孫にたくさん会うことができました。その移民した人の最初のグループ、「一世」がハワイに1910年に引っ越し、ハワイから多くの衣料品や家畜、生活必需品などを沖縄に送り、戦後の復興に貢献していたということを学びました。

その歓迎会で会った一人が、よく沖縄とハワイを行き来する人で、その人が最近、国際交流課に来て、私にDVDを渡してくれました。そのDVDにはハワイの浦添市人会が1959年に活動している様子の動画と写真が入っていました。その中に楽器の演奏や琉球舞踊、そして日本の学校の運動会で見るとなイベントの様子と、その中に一世とみられる人やその後の世代の人の参加も見られました。

当時の様子が見られる写真と動画を見たい人は、下の二次元コードを読み込んでください。私はこの機会を通してウラシーンチュの歴史を勉強できたことが楽しかったので、皆さまにもその楽しさを体験してほしいです!



ハワイの浦添市人会が活動している様子▶

### Urashinchu Who Immigrated to Hawaii

Last year I attended the 7th Worldwide Urashinchu Welcome Reception, which was held in Urasoe. During this reception, I met many people who were descended from Urashinchu who had immigrated to Hawaii long ago. I learned that the first group of immigrants, or "Issei", moved to Hawaii in 1910, and that they contributed to Okinawa's recovery after the war by sending clothing, livestock, and other essentials over from Hawaii.

One of the people I met during that reception makes frequent trips between Okinawa and Hawaii. On a recent trip, they came to our office at Urasoe City Hall and handed me a DVD containing many photos and a video of old footage of many fun looking Hawaii Urasoe Shijin Kai activities held in 1959. It contains scenes of musical performances, dancing, and several group events similar to what you would see at a Japanese school Sports Day being attended by several generations of people, including what looks like some Issei.

If you would like to see these photos and video, please scan the below image. I hope you enjoy learning Urashinchu history as much as I did!

## てだっ子 STUDIO



<p>城間在</p>  <p>ことみ 安田 采海 ちゃん (1歳2か月) 初めての飛行機♡</p>	<p>牧港在</p>  <p>えみり 比嘉 笑梨 ちゃん (10か月) 4月から保育園楽しもうね♡</p>	<p>港川在</p>  <p>あおと 川野 碧斗 ちゃん (1歳6か月) ヘリコプター大好き!!</p>
--	--	---

写真募集中!


【募集対象】 市内在住の0~9歳のお子さん  
 【応募方法】 ①お子さんの名前②ふりがな③年齢または月齢④居住区  
 ⑤一言コメントを入力しkouhou@city.urasoe.lg.jp  
 (広報広聴係)へ画像データを添付し、送信してください。



●写真は、お子さんの顔全体が写っているもの(頭や顔の一部が切れていないもの)  
 ●応募者多数の場合は、抽選の上掲載します。掲載の可否については連絡いたしませんのでご了承ください。

ハイサイ  
こちら市長室!

「浦添出身プロ野球選手!」



浦添市長 松本 哲治

今さらWBCで日本が優勝したことについてあれこれ書くつもりはないけれど、凄い時代になったものだ。私がまだ野球少年だった頃は、アメリカのメジャーリーグなんて王や長嶋だって通用しないくらいの異次元の世界だと思っていた。それが今では多くの日本人メジャーリーガーが誕生して活躍している。

私の記憶をたどれば、無理だ無理だと言われていた野茂が周囲の否定的な意見をはねのけてメジャーリーグ挑戦を果たし、素晴らしいピッチングを披露したのが皮切りだった。投手は可能でも野手は無理と言われる中、イチローが走攻守三拍子揃ったプレーで全米のファンを魅了した。その後も、日本人はパワーでは劣るのでホームランバッターは無理と言われる中、松井がポンポンと打ち込んで名門ヤンキースの優勝に貢献してくれた。そして、遂にはあの大山である。ピッチャーとバッターの二刀流でMVPまで獲得し、今や世界最高峰のベースボールプレイヤーの入となった。

つまり可能性はゼロではないのだ。今、私たちの近くで走り回っている少年たちがいつか甲子園を沸かせプロ



野球で活躍し、WBCの晴れ舞台でプレーしているかもしれないのである。事実、今回のWBCには山川、大城、宮城の3ウチナンチュ選手が活躍してくれた。

ここで忘れちゃいけないのが我が浦添市出身の選手たちだ。まずはソフトバンクの又吉克樹投手。浦添中学出身の32歳で、今や球界を代表するサイドスロー投手。それから、西武の與座海人投手。浦添中学出身の27歳で、緩急自在の投球が魅力のアンダーズロー。彼らの活躍もとても楽しみだが、問題はもしも又吉投手のいるソフトバンクか、與座投手のいる西武が日本シリーズでヤクルトスワローズと対戦した場合である。いつも難しい判断を迫られて、悩ましい市長という仕事ではあるが、こんなに楽しくて嬉しい悩みで頭を抱えてみたいものだ。頑張れ又吉&與座選手、3連覇だスワローズ!

簡単!健康!サッと作れる!

68品目

かんきつの酸味と甘みを生かした  
レンコンのマーマレード和え

減塩



材料(4人分)

- レンコン(水煮) …… 150g
- 豆苗 …… 1/4パック
- トマト …… 中1/2個
- ① オレンジマーマレード大さじ1と1/2
- ② 酢 …… 小さじ1
- ③ シークワーサー果汁 大さじ1
- ④ 塩 …… 少々

作り方

- ①レンコン(水煮)は厚さ3mmの半月切り、豆苗は3cmの長さ、トマトはさいの目に切る。
- ②レンコンと豆苗をさっと茹でて、冷水に浸したあと、水気を切る。
- ③ボウルに①の材料を混ぜ合わせ、レンコン、豆苗、トマトを加えて和えたら出来上がり。

栄養成分表示(1人前)

- エネルギー… 45kcal
- 食塩相当量… 0.1g

うめ〜しポイント

マーマレードの甘みとシークワーサーの酸味を生かした爽やかな味わいで、初夏におすすめの減塩レシピです。

レシピ提供: 浦添市食生活改善推進員協議会